

ECCJの牛尾上級顧問、田中国際連携センター長が2015年11月10日～14日にかけてコペンハーゲンにて行われた C2E2 主催の「Copenhagen Global Workshop to Accelerate Energy Efficiency: Challenges, Opportunities and Roadmaps」に出席

C2E2 の要請に基づき Workshop の講師として、日本の産業部門における省エネ政策の特徴と発展途上国に対する日本（ECCJ）の省エネ国際協力の実績紹介、SE4ALL 東京フォーラムの結果報告や Breakout Sessions における議論進行及び講師としてのアドバイスをを行った。

また今後の Energy Efficiency Facilitating ハブとしての方針探索とし、SE4ALL ハブ間の連携方式に関する打合せ、SE4ALL に支援を要望する諸国の具体的な支援要望内容の聴取や C2E2, WB, ADB, UNEP に属する各氏との交流を図った。

ワークショップ参加国に関しては SE4ALL 関係国が多く、中央アジア、東南アジア、アフリカ、中米の 4 地域から 3 か国のトータル 12 か国であった。また講師陣は、SE4ALL 関連機関をはじめとする国連関連諸機関（UNIDO, UNEP, その他）、WB、ADB、IEA 等からなり、COP21 関連の諸機関も加わり、情報交換、連携方式の模索等を行うには好適の環境であった。

